

平成26年度第3回 博物館協議会 抄録

(市民憲章唱和)

1 あいさつ

2 協議事項

I 平成26年度事業中間報告

(資料説明：事務局)

(委員)

上映会は、主旨を変えて午前中のみにしたということですが、以前とお客に違いはありますか。

(事務局)

以前の映画会ときには、半数近くが常連だったと聞いていますが、今年度は、7月27日の34人という日があれば、9月23日のように3人という日もありますので、上映されるテーマを見て興味があれば来るというお客さんが大半かもしれません。

(委員)

常設展の展示解説について、参加したボランティアの人数は統計があるが、参加したお客さんの人数はわかりませんか。

(事務局)

観覧者の統計は、特別展と企画展の観覧者を合わせた数になっており、常設展だけの観覧者の数はカウントしていませんので、ここで正確な数はお答えできません。

(委員)

催しもの案内に関してですが、講座などはたいてい第2土曜日ですとか、第4土曜日などに固定されてしまっているようですが、これだと土曜日に習い事など予定のある方だと、行きたいと思っても参加できなくなってしまうますが、第5土曜日は、習い事は休みだったりすることもありますので、第5週目がある月には、そこに催しものを入れてもらうとより多くの人に参加できるのではないかと思います。

(事務局)

検討させていただきます。

(委員)

催しものの案内の全戸配布は効果がありましたか。

(事務局)

全戸配布は今年度の下半期からなので、まだわかりません。

(委員)

特別展・企画展の目標観覧者数ですが、タイトルを見ていると、最初からもう少し実績値に近い値が想像できると思うのですが。

(事務局)

目標値は第1回の協議会で案を出したものです。この目標値は過去の同様のテーマの展覧会の観覧者数や最近の入館者数を参考に設定していますが、予想が大きく外れるものもあるのが実情です。今後もより精度の高い設定が出来るように努力していきます。

(委員)

(常設展は弥生時代・三河真宗・三河万歳の入れ替えを行ったことについて) これで人数が増え伸びるのか。常設展示室にいかないのでは? 宣伝方法はどのようにしているのか?

(事務局)

催し物案内やホームページで告知しています。大幅な増加は見込めませんが、案内してもらった来館者は満足度が高いようです。

Ⅱ 平成27年度の開催予定展覧会

(27年度開催予定展覧会の説明: 事務局)

(委員)

「わたしの見た戦争」展の「わたし」はいくつぐらいの人を想定しているのですか。

(事務局)

昭和10年前後の生まれの人を考えています。

(委員)

そうすると、(1)の展示コーナーの「おとうさんから聞いた話」というのは、昭和10年生まれの子ども親となると、明治30～40年前後の生まれとなると思いますが、日清・日露戦争のことは体験していないのでは？

(委員)

タイトルからこの内容は想像し難いように思えます。

(事務局)

その点につきましては、担当とも話しをしてもう少し検討していきます。

3 その他

(平成28年度からの指定管理者制度の導入について 資料説明：事務局から、施設管理部門およびイベント・PRの部分を指定管理に出し、調査研究・展示・資料保存は従来通り直営で行う形の指定管理であることを説明。)

(委員)

博物館を指定管理に出すことのメリットは何が一番大きいですか。

(事務局)

現在は庶務部門の業務の一部や、イベントの準備・実施などを学芸係が行っており、これらの対応に時間をとられていますが、こうした業務を指定管理者に任せることによって、学芸員が専門分野の業務に費やす時間を増やすことができ、質の高い展示や資料の整理などにつながることを期待できます。

(委員)

施設管理部門の人員を増やすことは出来ないのでしょうか。

(事務局)

現在の職員体制では、施設管理部門の人員を増やすことは難しいです。

(委員)

職員減はいかん。やりやすい環境づくり、人材登用が必要である。

(委員)

安城市ですでに指定管理者制度を導入しているところがありますか。

(事務局)

丈山苑もそうですし、市民交流センターですとか、安祥閣などがありまして来年度からは市民会館も指定管理となります。

(委員)

展示や調査全般も任せるということではないなら、やったほうが良いと思います。

(委員)

最終的な決定権はどちらにあるのですか。

(事務局)

こちらです。

(委員)

どのような会社の参入が考えられますか。

(事務局)

市民会館の場合だと、株式会社ケイミックスという文化施設の管理・事業運営を業務の柱としている事業者に決まっております。

(事務局)

高浜の瓦美術館だと乃村工藝社という展示業者が参入しています。

(事務局)

最初に会長がおっしゃられるた鍰の見せ方のようなアイデアを民間から提供してもらいより良い展示にしていくのが目的です。

(事務局)

現在、東端町から見つかった安城高等女学校で使われていたグランドピアノを修理しています。最終的には新しくなる図書館に行く予定ですが、それまでは博物館で預かる予定です。その修理が終わったらお披露目の演奏会を予定していますので、みなさまご承知おきください。

(議事終了)

(事務局)

あいさつ